



琴清苑だより



発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 琴清苑
編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町冰川1099
TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706
URL <http://www.futabakai.or.jp>
e-mail kinseien@futabakai.or.jp

第22号



氷川保育園児による訪問（11月誕生会にて）



今年は介護保険法制定時の付帯決議に基づく制度全般の見直しの年です。厚労省は最大の焦点となつている保険料徴収が被保険者の年齢引き下げと介護保険を利用できる対象を0歳にまで広げることを目指してきましたが、各方面的の反対によつてこれらを見送る方針を固めたと報道されています。対象拡大が見送られたことで今回の改正は要介護度が軽い人に筋力トレーニングなどをして貰い重度化を防ぐ「新予防給付」の導入や特養ホームなどの入居者に原則として食費や居住費などを負担してもらう給付抑制策が中心となる模様です。何れにしても介護が必要な万人のための制度へ向けて更に議論をすすめて欲しいものです。

奥多摩町が誕生して五十周年という記念の年となりました。河村町政による住み良い町づくりに大いに期待し、町民でありますように良い年でありますようご祈念申し上げます。変わらぬご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

明けましておめでとうございます。どなたさまも健やかに平成十七年の初春をお迎えのこととお慶び申しあげます。昨年は記録的な猛暑と相次ぐ台風の襲来による集中豪雨に打撃を受け加えて新潟中越地震では更に大きな被害を蒙りました。一方アテネ五輪では未だに被災地の皆さんには不自由な生活を余儀なくされています。一日も早い復興を願うものです。自然の威力と自然の中でも生かされていることを痛感させられた年でありました。一方日本勢が大活躍し私達に力を与えてくれました。中でもハンマー投げの室伏選手がライバルのスキンダルに複雑な思いがましました。中でもハンマー投げの室伏選手がライバルのスキンダルに複雑な思いを抱きつつ、金メダルに繰り上がりつても、相手を責めるのではなく、非常に控えめに相手を責めるのではなく、非常に控えめに相手を責めることで、金メダルへ向けて努力していくことだと今も思っている」と言つておりました。これを聞き日本人の心は失われていない、これぞスポーツと感銘を受けたものでした。

新年挨拶
琴清苑長 小澤 大

琴清苑内の
衛生管理



害虫駆除の様子



援助物資の布団

に薬剤を散布する事により、害虫駆除を行つて来ました。しかし、チャバネと呼ばれる害虫は薬剤散布を行つても、一時的に活動を抑えるだけで、数カ月後には元に戻るような状況です。対策に苦慮した結果、専門業者に駆除を任せた事となりました。

そして、その処理方法や実績を考慮して、睇ダスキンに害虫駆除業務を委託しました。その処理に、段階的に害虫を駆除していく方法をとっています。琴清苑として、百万円ものお金を投じていますので、これにより害虫が撲滅することに大いに期待しています。

今後も害虫駆除のみならず、施設内衛生管理に万全を期して取り組んで行きたいと考えています。



昨年十月の地震では、新潟中越地方を中心に被害が拡大し、悲惨な状況に見舞われてしましました。施設では、被災者の救援に対する予備品は、何だろうと考え、予備として保管しておいた、布団25枚を、長岡市災害対策本部に送りました。また、義援金に關する事は、東京都社会福祉協議会を窓口として、職員としても、他人の大変な状況を目にし、とても他人とは思えず、被災者の救済に少しでも役に立てばと考え、琴清苑にあります。福祉協議会を通して、奥多摩町社会福祉協議会を通じて、少しではありますが、募金をさせて頂きまし

新潟中越地震
に对する支援

防災訓練



防災訓練の様子（写真上・左）



施設では毎月、新潟中越地震災害により、火災ばかりでなく、地震の恐ろしさをあらためて感じさせられました。それを教訓に、防災の重要性を、職員が真剣に考え、避難訓練に取り組んでいます。



障子貼りの様子



障子貼りの様子

毎年来ていただいているため
手際の良い作業で、あつというう
間に障子も白く仕上がり、穏やか
な秋の日に輝いていました。今年
の冬も暖かく迎えられそうです。

南水川障子貼り
ボランティア

運動会での様子
輪投げをしている萩原とし子様運動会での様子
的てボーリングをする須崎金太郎様

運動会

10月1日に運動会が行われました。赤・白の帽子、おそろいのトレーニングウェアに着替え、利用者の方々は張り切ってボール送り競技・一の皆さんはハラ・ドギドギとちよつぱり興奮度を高めました。いつもど違った笑顔が見られ、いい一日を過ごしました。

今年優勝の赤組を代表して優勝カップを頂く
藤田セキ様

十三夜のススキをバックに 福島トヨ子様

今年寒さを感じられる時期を迎えた。秋のお彼岸も終わり、日々肌寒さを感じました。今年の十三夜も昨年同様、お花を各戸ア一に飾り皆さんに楽しんで頂きました。

十三夜



双葉会診療所の片倉先生によるインフルエンザワクチンの接種

今年も11月26日、62名の利用者の方が風邪予防の為、インフルエンザワクチンの接種を行いました。

インフルエンザ ワクチン接種



紅葉狩りにて、左から石川イト様・戸塚忠様・山田智恵子様



晴れ渡る秋空の下、紅葉狩りに出掛けました。鮮やかに彩られた山々を眺めたり落ち葉を拾ったりして、清々しい空気の中、秋のひと時を過ごされました。

紅葉狩り



面会での様子 吉田テツノ様とご家族の皆様



吉田
テツノ
様
ご家族より

雲一つない小春日和の日、一ヶ月ぶりに母の顔を見に来ました。こちらでお世話になつて三年余り、一ヶ月に一度、母の所へ来るのが生活のパターンとなつていています。いつもきれいで元気な母を見られることが本当に感謝しています。このバターンが続いてくれることを願いながら又、来月もようと思つています。どうぞよろしくおねがいいたします。

ご家族より一言

ドクター中野の星のおはなし №14

ギリシャ神話一天地創造の物語

原始物語によれば、まず万物がぼんやりした混沌（カオス）が生じた。この中から宇宙の秩序を造り出し、それに区分を与えるのがどのような神にあつたにせよ創造の神はまず初めに地を形造って大きな球をつくりあげた（変身物語）。この豊かな大地の下に冥府がそして大地と冥府を結ぶ愛の女神エロスが生まれ、万物の誕生が開始された。

カオスから「闇」と「夜」が出て、この両者が愛で結ばれ星も生まれた。そしてウラヌス〔空〕を生み、大地の周りを覆い、擰るぎない神々の永遠の住居を定める為であった。その準備は完了したが神々の姿がなく、大地とウラヌスの間に12体の神々が誕生した。男神6人、女神6人だった。この神々はのち重要な存在となった。何れも「巨神」で「ティタン族」と呼ばれた。どの神も日常生活は人間と似ていたのは性格も似ていたという。体も人間と似ているが背丈と美しさは人間は及ばなかった。ある神が地上に横たわると200メートル以上となった。神々の血液はサラサラして靈液とされ、癪ることなくどんな傷でも治ったし、不老不死、永遠の若さを保った。最大の特権は何にでも、いつでも変身できることだった。人間と同様、愛・憎しみ・怒り、そねみに動かされた。

12体の神々の次に手が100本もあるという怪物が誕生し、ウラヌスは恐れて地下に幽閉してしまった。これに立腹したガイア（大地）は策を弄してウラヌスを襲った。12神の末子のクロヌスが手伝った。鎌で切りつけ、肉片は宙を舞い、滴る血が大地にしみ通って復讐の女神が誕生した。ギガヌス族と呼ばれた。



神々と人類の父ゼウス



クロノス猿

ボランティア状況 (敬称略) 10月～12月)

入苑された利用者
 (10月～12月)

3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	月	月	月	1	月	1	月
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	日	日	日	日	日	日	日
22	18	9	18	15	11	9	14	2								
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日							
彼	宣	ひ	宣	涅	お	節	餅	宣	初	力	新	年	挨	拶		
岸	食	な	食	繫	寿	分	つ	食	笑	ル	タ					
法	会	祭	会	会	司	き	会	会	い							
要	り									大	会					
										大	会					

あけまして
おめでとうございます。
今年もよろしくお願ひ
致します。

奥多摩でも雪の便りが近
づいてきました。台風や地
震の被災地はどんなに大変
な冬を過ごされているか心
配ですね。

今年こそ良い年になりま
すように。



編集後記

琴清苑で働き二十三年、介護職として利用者の皆さんと接することで沢山の事を教えていただきました。また、介護保険導入後は介護支援専門員として暗中模索の日々でしたが利用者・職員の皆さんに支えられて何とか頑張ることができました。

今、自分を振り返ったとき充実した二十三年間が送れた事を感謝します。



職員紹介

介護支援専門員
森田美都子